

酒造施設内で笑顔を見せる和磨さん。



新しいお酒の楽しみ方を 皆さんに発信していきたい



おいかわ **老川** かずま **和磨**さん (29歳)

奥州市江刺出身・在住

「金ヶ崎薬草酒造」代表。昨年3月、祖父の家がある金ヶ崎町に会社を設立。趣味は読書と音楽(ギターとベース)。祖父母、両親、妹と6人暮らし。

▶金ヶ崎薬草酒造

■住所 金ヶ崎町西根下桑ノ木田 30

■Mail info@kspyakusou.com

■営業時間 10:00 ~ 18:00 (不定休)

※ホームページやインスタグラムでも情報発信中 ホームページ▶



「日本古来のもので新たな文化や価値を作りたい」と話す和磨さんは、祖父の家を改修して昨年3月に酒造会社を設立。自家栽培したハーブを使いながらリキュールを製造している。高校卒業後、東京に進学。飲食店やバーでアルバイトをしているうちにハーブリキュールの魅力に惹かれた。一方で、国産のリキュールは少なく外国製が多いことを実感。自分の手で国産のハーブリキュールを作る夢を抱いた。

2015年にバンクーバー、その後はニューヨークで経験を積んだ。帰国後、知人の紹介で東京都目黒区でバーを経営し、当時従業員だった林優花さんが共同経営者となり、金ヶ崎薬草酒造を設立した。

昨年11月末に酒造免許を取得し、初めてお酒を作ることができた時の喜びは忘れられないという。

現在製造しているのは「和花」と「桑ノ木田30」。和花は四季に合わせて4種類展開する。4月から春「樹」と秋「果」を販売する予定。

これまで、「好きなことだけずっとやってきた」と笑顔で話す和磨さん。コロナ禍で、若者を中心に、お酒のあり方が変わってきている今日。「少量のお酒をゆっくりと楽しむ、新しいお酒との出会いを皆さんに提案したい」と先を見つめる。

広報日記



2月上旬も雪が振りりましたが、やっと最近になり暖かくなりました。年をとるにつれ、もうこんなにも月日が過ぎ去っていたのかが驚くことが増えました。春になれば入学式や花見など、新年度の始まりを感じます。採用6年目を終えますが今後も1年1年大切に勉強していきます。(村口)

町公式 LINE で情報発信中

広報の発行やコロナワクチンに関する情報などをLINEでお知らせ!



友達登録はこちらから

人口と世帯

2月28日現在

※()内は前月比

| | | |
|-----|---------|--------|
| 人口 | 15,337人 | (- 54) |
| 男 | 7,856人 | (- 35) |
| 女 | 7,481人 | (- 19) |
| 世帯数 | 6,185世帯 | (- 48) |

